一般社団法人日本児童青年精神医学会 再認定申請時チェックリスト

申請	青番号(事務局記入欄): 記入日:			
申請者名:				
1.	提出書類(すべて揃っていることを確認)			
	認定医再認定申請書 □ 研修実績報告書 □ 規定を満たす	たすことを証明する書類		
	医師としての職歴に関する追加申請 □ 振込票のコピー □ チェックリン	スト(本紙)		
2.	申請資格等	はい	該当せず	
1.	認定医期限が本年度3月31日までである			
2.	過去6年間で研修等により15点以上を得た(研修実績報告書と規定を満たすこと			
	を証明する書類を提出する)			
3.	医師としての職歴に関する追加申請(過去6年間の職歴上の異動)を記した文書,			
	または異動のない場合,その旨を記した文書を提出する			
4.	再認定審査料を振り込んだ			
5.	提出書類のコピーを手許に残してあり、簡易書留で送付する			
3.	研修実績報告書(認定医制度施行細則第 10 条の規定による実績報告,および規定を			
	満たすことを証明する書類)			
1.	本学会誌掲載論文以外の論文または出版物については,表紙のコピーのみでなく			
	内容のコピーを提出する			
2.	論文は、公刊された刊行物(紀要、研究班報告書などを含む)であり、児童青年精			
	神医学の臨床に関する内容で、論文形式をとり考察を含んでいる			
3.	演題発表の実績証明として、抄録集等のコピーを添付する			
4.	本学会,または指定学会,研究会,研修会への出席を証明する書類(コピーでも可)			
	を添付する(ただし、一学会・研究会につき、1年度1点を上限とする。勤務先の			
	上司の出張証明は不可)			
5.	日本医師会生涯教育研修への受講出席は、合計 5 点以内である			
6.	精神保健指定医の証(コピー)を添付する			
4.	5 例までの症例報告を提出の場合 (該当しない場合は以下不要)			
1.	申請者が診療を担当した時点で 18 歳未満である			
2.	治癒に至っていない場合、治療中断に終わった場合には、その間の事情について言			
	及されている。この場合、6ヵ月以上の経過追跡を必要とする			
3.	症例報告の様式の典例を参考に、症例番号、性別、初診時年齢、診断、主訴、家族			
	歴,生育歴,現病歴,治療の経過を記載し,一定程度の考察を付記している			
4.	診断(ICD-10 に従って記載し、コード番号も示す。可能なかぎり下位診断名まで			
	記載し、必要に応じて,従来診断も併記されている)			
	(例: F84 広汎性発達障害 ではなく, F84.5 アスペルガー症候群と記載)			
5.	適応外処方については、説明と同意の内容が明記されている			
6.	個人情報保護に配慮した記載を行っている			
7.	年号は、X 年で記載されている			
8.	1 例 $2,000$ 字程度で記述されている。 $A4$ 用紙にワードプロセッサで記述し, 1 枚の			
	字数は 1 枚の字数は 40×30 行,文字の大きさは 10.5 ポイントである			
9.	症例は未発表の最新のものが望ましい			